

表3 職務級別平均給料月額（一般会計） 【平成24年4月1日現在】

職務	主事 技師	主事 (高度) 技師 (高度)	係長 主査 主任	係長 (困難) 主任 (困難)	課長 補佐	課長 主幹	次長	部長	計
給料表の 適用級	1級	2級	3級	4級	4級	5級	6級	7級	—
職員数	159人	220人	243人	289人	36人	143人	17人	16人	1,123人
(構成比)	(14.2%)	(19.6%)	(21.6%)	(25.7%)	(3.2%)	(12.7%)	(1.5%)	(1.4%)	—
平均年齢	23歳2月	30歳4月	39歳0月	52歳0月	49歳4月	56歳4月	56歳6月	57歳8月	41歳5月
平均給料 月額	172,147円	230,449円	311,574円	386,195円	380,850円	408,243円	420,212円	442,346円	313,182円

※管理職は課長補佐職以上

表4 ラスパイレス指数（給与水準）

区分	平成21年	平成22年	平成23年
苦小牧市	96.3	97.7	99.2
道内10万人都市平均	97.0	97.6	98.1
全国地方公共団体	98.5	98.8	98.9

表6 期末・勤勉手当の支給割合

区分	苦小牧市職員		国家公務員	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月	1.475月分	0.425月分	1.225月分	0.675月分
12月	1.575月分	0.475月分	1.375月分	0.675月分
計	3.05月分	0.9月分	2.6月分	1.35月分

※職務の級などに応じた加算措置がある
【平成24年4月1日現在】

表7-1 退職手当の支給状況 【平成24年4月1日現在】

勤続年数	苦小牧市職員		国家公務員	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分
30年	41.50月分	50.70月分	41.50月分	50.70月分
35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分

表7-2 退職手当の支給状況 【平成23年度決算】

退職理由	人数	平均支給額
自己都合	41人	3,570千円
勤奨・定年	83人	25,415千円

※人数は退職手当の該当者数（死亡退職を除く）

表8-2 主な諸手当の支給状況 【平成23年度一般会計決算】

区分		全職種
特殊勤務手当	職員全体に占める手当支給職員の割合	37.5%
	支給対象職員1人当たりの平均支給年額	28千円
	手当の種類（手当数）	15種
	代表的な手当の名称	出勤待機手当 出勤手当 業務手当 出勤手当 出勤待機手当
時間外勤務手当	22年度	支給総額 218,843千円 職員1人当たり支給年額 220千円
	23年度	支給総額 225,596千円 職員1人当たり支給年額 221千円

※●出勤待機手当＝隔日勤務を命じられた消防職員への手当 ●出勤手当＝消火作業又は救急業務に従事した消防職員への手当 ●業務手当＝生活保護、市税の賦課及び収納などに従事する職員への手当

表5 特別職の給料・報酬

区分	苦小牧市 (月額)	道内市平均 (月額)
給料	市長	833,000円 / 831,205円
	副市長	720,000円 / 743,315円
報酬	議長	520,000円 / 606,477円
	副議長	480,000円 / 546,100円
	議員	440,000円 / 501,327円

※道内市平均とは人口10万人以上の市
【平成24年4月1日現在】

7 退職手当の支給状況
退職手当の支給割合は、勤続年数や退職理由により表7-1のとおり定められています。平成23年度の退職者数と平均支給額は表7-2のとおりです。

表8-1 主な諸手当の支給状況

区分	支給基準		月額	
			苦小牧市職員	国家公務員
扶養手当	配偶者		13,000円	13,000円
	子・父母等 1人目	配偶者がある場合	6,500円	6,500円
		配偶者がいない場合	11,000円	11,000円
	2人目以降		6,500円	6,500円
	16歳から22歳までの子の加算		5,000円	5,000円
住居手当	借家など支給対象家賃額 (市) 7,001円以上 (国) 12,001円以上		1,000円～ 27,000円	100円～ 27,000円
	持家		0円	0円
通勤手当	自家用車などの利用者	距離(片道)	2.0km以上	2.0km以上
		金額	2,000円～ 24,500円	2,000円～ 24,500円
	交通機関利用者限度額		55,000円	55,000円

【平成24年4月1日現在】

3 職務級別平均給料月額（一般会計）
職員の給料月額は、職務の複雑・困難・責任の度合いに応じて級別に分類され、給料表によって定められています。（表3）

4 ラスパイレス指数（給与水準）
ラスパイレス指数とは、国家公務員の給料水準を100とした場合における地方自治体職員の給料水準を示したものです。本市は、平成23年4月現在99・2であり平成22年度から1.5ポイント増となっています。表4は全国、道内の市との比較です。

5 特別職の給料・報酬
特別職の給料・報酬は市議会の審議を経て「苦小牧市特別職の職員給与に関する条例」で定められています。財政健全化緊急対策などにより、平成12年1月より減額措置を行っており、平成19年4月1日から平成25年3月31日までの間に限り給料月額が、市長15%、副市長および常勤監査委員10%の減額となっています。（表5）

6 期末・勤勉手当の支給割合
民間企業の賞与にあたる期末・勤勉手当は、給料と扶養手当の合計を基礎として定められています。（表6）

8 主な諸手当の支給状況
主な諸手当については次のとおりです。（表8-1）（表8-2）